

2023

ぶうげん

びりあ



No.357

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

学芸会 に向けて



副校長 旭岡 真司

令和5年度も半分が経過いたしました。9月23日(土)は今年度の大きな行事であった「開校50周年記念式典」を無事に挙行することができました。学校行事が恙なく行えるのは、保護者、地域の皆様の御理解と御支援のお陰であることを改めて感謝申し上げます。

さて、2学期も8月28日(月)の始業式から6週間目に入り、暦は10月になります。この間、3度の土曜日登校が設定され、保護者の皆様におかれましては、お子様の学校生活の様子の一部を御覧いただけたかと存じます。10月は、28日(土)に学芸会の開催を予定しております。久方ぶりの入場制限なしでの開催を計画し、準備を進めております。多くの地域の方に御来校いただき、子供たちの演技を見ていただけるようことを願っております。

さて、10月28日(土)開催予定の学芸会へ向けての特別時間割(体育館での練習割り当て)が2日(月)から始まります。先駆けて既に、演劇のオリエンテーションや役柄のオーディションが行われており、御家庭での話題にも挙がっていることと思います。お子様の頑張りを、温かい言葉でサポートしていただけると幸いです。

ところで、学校生活の中で学芸会を行うことのねらいは、何なのでしょう。小学校・中学校の学習指導要領では、以下のように書かれています。

文化的行事のねらい

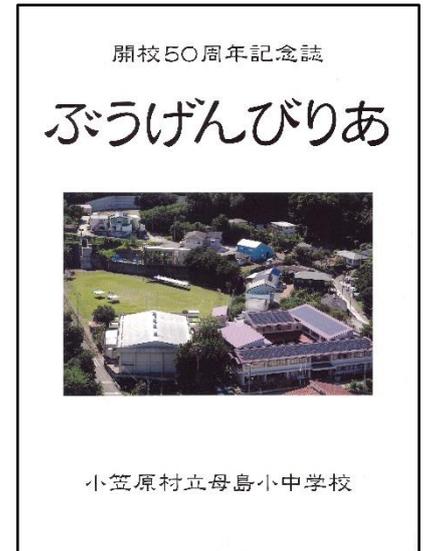
「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。」

・児童(生徒)が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものを作り出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを感得するとともに、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲をもつことができるようにする。

学芸会という大きな学校行事の中で子供たち一人一人が大きく成長し、達成感を得られる行事にしたいと思います。多くの皆様の御来校をお待ちしております。

9月23日（土）に、小笠原村立母島小中学校開校50周年記念式典が行われました。小笠原村長を始め、数多くの来賓、保護者の皆様が御列席されている姿、心のこもった温かい祝辞、今まで母島小中学校に携わってきた方々から頂いたお祝いの言葉、真剣なまなざしで式に参加する児童・生徒の姿を見て、本校が地域で大切にされているのだと改めて実感いたしました。

また、開校50周年記念誌の寄稿文を読み、自身が母島小中学校で在籍したときの思い出、卒業式の日「子供たちの門出を地域みんなで祝いましょう」という趣旨の温かい村内放送の良さ、郷土愛が育まれた島の宝である子供を温かく励ます言葉を見ることができ、温かい気持ちになりました。寄稿していただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。



児童・生徒代表の決意の言葉では、児童・生徒代表2名が、素晴らしい言葉を述べてくれました。

児童代表者は、学芸会で学んだエピソードから「みんなで協力して、全力を出し切ることで得られる達成感の素晴らしさ」を述べました。そして、自分が中学生になったときには、この学んだことを活かし、「小中学生みんなが協力して全力で取り組む」という前向きな思いと決意が伝わりました。

生徒代表者は、母島の自然の美しさ、校舎を美しく守ることの大切さとともに、「小中学生が同じ校舎で9年間学べる良さと、小中学生が協力して行事に取り組める母島小中学校の魅力」を述べました。そして、結びである「今年は開校50周年ですが、この数字がどんどん増えてほしいです。そして、これからも母島小中学校のきれいな校舎を皆で大切にしていきたいです。」からは、半世紀もの間多くの方々が守り続けた母島小中学校を誇りに思い、これからも守り続けてほしいという最高学年の願いが感じられました。

多くの方に愛され、支えられてきたこの母島小中学校の記念すべき日を迎えることができ、本当にうれしく思います。代表者の言葉のとおり、開校60周年、70周年、100周年と時を刻み、いつまでも小笠原の方々から愛される学校であり続けることを願っています。

今年度で赴任して3年目となりました。初めて母島に来たときはコロナ禍真っただ中。様々な行事や活動が縮小され、マスクの着用や毎朝の検温などが余儀なく行われていました。そこから2年、今年度はたくさんの日常が戻ってきています。



例えば、学校での昼食時。昨年度までは各教室も使用して黙食をしていましたが、今年度は交流室に全員が集合し、グループごとに会話を楽しみながら、昼食をとれるようになりました。お互いのデザートを見せ合ったり、放課後に遊びに行く計画を立てたり、他学年の友達とも交流が図れるよい機会となっています。

また、久々に開催された「小笠原村・南アルプス市中学生親善交流」には、中学2年生4名が参加しました。最初は、父島や南アルプス市の中学生に緊張している様子もありましたが、南アルプス市の自然や甲斐犬と触れ合ったり、バーベキューや桃狩りを体験したりしているうちに、すっかり打ち解けることができました。来年度は南アルプス市の中学生が小笠原に来ます。再び実りある交流ができることが、今から待ち遠しいです。



その他にも、運動会のPTA競技、小学校全学年で行うプール納め、学芸会での全児童生徒による「幕開けの歌」の合唱など、少しずつコロナ前に行われていたことが復活してきています。保護者、地域の皆様にも、子供たちの輝く笑顔を見ていただく場が増えることを願っています。

スクールカウンセラーより

スクールカウンセラー

ネット（ゲーム）依存という言葉が出てきて久しいですが、この問題について、心理の専門家の間では、本当のネット（ゲーム）依存の子供はめったにいないということが共通の認識になりつつあります。私たちカウンセラーのもとに来るネット（ゲーム）依存の子供は、ほとんどの場合、右の図に示したような状態の子供なのです。



学校にも家庭にも居場所がなく、ネット（ゲーム）の世界で注目、称賛、尊敬といった欲求を満たし、かろうじて自分という存在を保っている子供の姿が見て分かると思います。子供がネット（ゲーム）依存になるということは、ある意味では、現実の生活での行き詰まりを感じているサインである、という見方も大事になってくるのかもしれませんが。子供がネット（ゲーム）依存かなと思ったら、まずは子供を取り巻いている環境に無理が生じていないか見直してみることをお勧めします。無理をして生活をしていると子供はゲームに執着するようになります。子供に負荷が掛かり過ぎないように環境を改善し、子供が心身ともに余裕をもつことがゲーム依存からの回復の第一歩になります。

10月の生活指導

生活目標

「自分から進んで働こう」

- ・周りの人の支えに感謝しよう。
- ・力を合わせて仕事をしよう。
- ・社会に役立つ大切さを理解しよう。



安全指導 2日(月)

「刃物の取り扱いと道具の借用・返却について」

が、重点指導目標です。

今月は、学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。先生に無断で使用するのではないよう、ルールを守り安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

避難訓練 11日(水)

校内での地震を想定した避難訓練を行います。各学級で突然の強い揺れから身を守る行動や判断を学びます。緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれることを目標に行っていきます。

令和5年度 学芸会

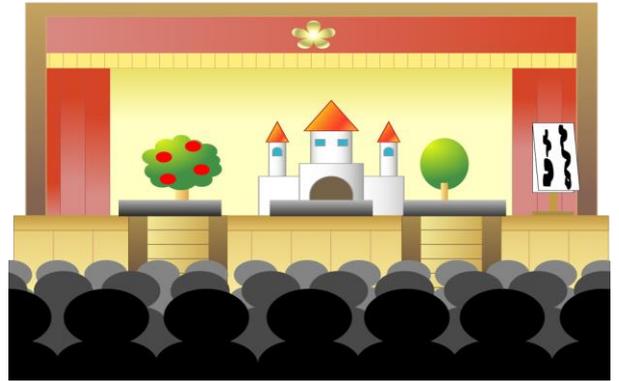
◆日時

学芸会 10月28日(土)
開演8時45分
振替休業日 10月30日(月)

今年度の学芸会は、以下の3つの演目を行います。

- 小1・2・3年 劇
- 小4・5・6年 劇
- 中学生 劇

来校の際は必ず上履きをお持ちください。
詳細につきましては、後日配布いたします。
「学芸会のお知らせ」を御覧ください。
御理解、御協力をお願いいたします。



10月の主な行事予定			16	月	(小)保健体育委員会集会 (中)中朝礼 (小)クラブ
1	日	都民の日	17	火	(中)委員会
2	月	朝礼 安全指導 (小)委員会 SC 来島~4日	18	水	歯科検診
3	火	(小6)タコノ葉採集	19	木	(中)オンライン授業 義肢装具士 白井氏
4	水	(小)飼育栽培委員会集会	20	金	
5	木	(中)中間考査	21	土	
6	金	(中)中間考査 (中)委員会 (小6)タコノ葉採集③	22	日	
7	土	(中3)実力テスト	23	月	
8	日		24	火	
9	月	スポーツの日	25	水	学芸会予行
10	火	朝礼(保健指導) (小)クラブ	26	木	
11	水	避難訓練 (中)生徒総会	27	金	学芸会前日準備 (全)6時間授業
12	木		28	土	学芸会 (全)5時間授業 (全)片付け(5h)
13	金	(小5~中)学芸会会場設営 (~小4)5時間授業 体育館開放停止(28日夕方まで)	29	日	
14	土	(中)バレ一部遠征 PTA キャンプ	30	月	振替休業日
15	日	(中)バレ一部遠征 PTA キャンプ	31	火	